

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20220002	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	遠隔操作アンドロイドによる存在感の研究	研究代表者 (所属・職)	石黒 浩（大阪大学・大学院基礎工学研究科・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>研究代表者は、以前から人に酷似したロボットを開発しており、その1つである代表者に酷似したロボット（ジェミノイド）を用いた実験を行っている。すなわち、本研究はジェミノイドをさらに使いやすくし、必要最小限の機能をもつロボット（テレノイド）の開発という工学研究と、ジェミノイドに接する人の心理学的、脳科学的研究である。後者に関しては、論文として発表された研究成果がやや少ないように見受けられる。</p> <p>本研究のように、ジェミノイドを用いる実験環境は他では実現されていないので、新規の研究成果を得やすく、今後も研究を続ける価値がある。テレノイドに関しては、類似の癒しロボットと比較し、独自性を発揮することが期待される。</p>	